

〔令和5年度〕決算報告

宮津与謝環境組合は、1市2町（宮津市・伊根町・与謝野町）から排出されるごみを「宮津与謝クリーンセンター」で、できるかぎりの資源化と減量化を図りながら、ごみ処理を行っています。今後も安定したごみ処理を継続してまいります。

約300トンの減少

ごみの処理量は昨年度と比較して、293トン減少しています。市町別にみると、与謝野町が295トン減少。特に「可燃ごみ」が260トン減少しており、紙類の分別や生ごみの水分を切るといった行動が、減少の大きな要因と考えています。引き続き、ごみの減量化にご理解とご協力をお願いします。

組合では、令和6年10月15日に「令和6年第2回宮津与謝環境組合議会」を開催し、提出した1議案（令和5年度宮津与謝環境組合歳入歳出決算認定について）が認定されましたのでお知らせします。

宮津与謝環境組合事務局
46-2111

【令和5年度】ごみの受け入れ実績（単位：トン）

ごみの種別	宮津市	伊根町	与謝野町	合計
可燃ごみ	4,785	420	4,186	9,391
不燃ごみ	817	83	714	1,614
大型ごみ	147	74	159	380
かん	55	3	43	101
ペットボトル	74	7	62	143
びん	132	18	112	262
プラスチック製容器	266	27	366	659
紙製容器	52	3	72	127
紙バック・ダンボール	9	0	1	10
新聞・雑誌	6	1	2	9
発砲スチロール	10	1	8	19
有害・危険ごみ	13	2	13	28
合計	6,366	639	5,738	12,743

較して、293トン減少しています。市町別にみると、与謝野町が295トン減少。特に「可燃ごみ」が260トン減少しており、紙類の分別や生ごみの水分を切るといった行動が、減少の大きな要因と考えています。引き続き、ごみの減量化にご理解とご協力をお願いします。

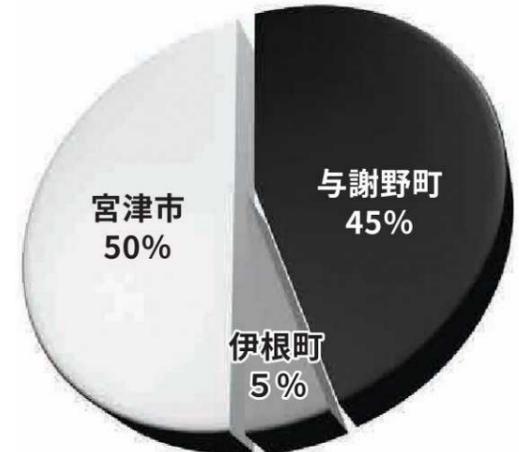
令和5年度一般会計決算額

与謝野町からは分担金として2億824万円を支出しています。

● 歳入（入ってきたお金／単位：千円）		● 歳出（使ったお金／単位：千円）	
科目	金額	科目	金額
分担金および負担金	444,219	議会費	146
使用料および手数料	19,058	総務費	40,156
繰越金	23,681	衛生費	507,110
諸収入	90,267	公債費	0
合計	577,225	予備費	0
		合計	547,412

【ごみの受け入れ比率】

与謝野町は昨年の46.3%から1.3ポイント減少しています。



「雑がみ保管袋」を作成

紙類の再資源化へ



与謝野町では、地球温暖化対策の一つとして、ごみの減量化に取り組んでいます。その一環としてリサイクルできる紙類、いわゆる「雑がみ」の再資源化に向けて「雑がみ保管袋」を作成しました。作成した保管袋は、2月下旬を目途に各世帯1枚ずつお配りする予定ですので、ぜひ活用ください。

農林環境課 ☎43・9023

再資源化で処理費の削減に

一般的に燃やすごみとして捨てられている「雑がみ」は、全体の約6、7%を占めると言われています。令和5年の与謝野町の可燃ごみ収集量は約4186トンです。で、年間約252トンの雑がみが可燃ごみとして捨てられている計算になります。可燃ごみ1トン当たりの処理経費は約4万円かかると言われていますので、年間約1000万円の処理経費が削減できることとなります。また、可燃ごみの処理量が減ると施設の長

寿命化にもつながります。

町民の皆さんお一人おひとりが雑がみを資源ごみとして排出いただくことで、持続可能な町に近づくことになるほか、地球環境を守ることに繋がります。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

【雑がみの例】

包装紙、封筒はがき、紙袋、紙の芯、コピー用紙、紙箱、台紙、カレンダー・チラシなど

※「紙マーク」のある紙製容器包装は、紫色のごみ袋に入れて収集場所へ出してください

「雑がみ保管袋」の使い方

- 1 お配りした「雑がみ保管袋」の中に中袋をセットします。
- 2 ごみとして出る「雑がみ」を中袋に入れましょう。
- 3 各地区の資源ごみの日に中袋を取り出し、ゴミステーションにそのまま出してください。



※ 中袋に入れるごみに個人情報を含むものを入れないようにしましょう
 ※ リサイクルできない紙類もありますので、注意して分別しましょう
 ※ 保管袋が破れるなど使用できない場合には、「雑がみ」として処分いただき新しい保管袋をご利用ください。各地区公民館、役場各庁舎窓口や農林環境課などに予備を置いてありますので活用ください。なお、予備は3月以降に所定の場所へ配置予定です